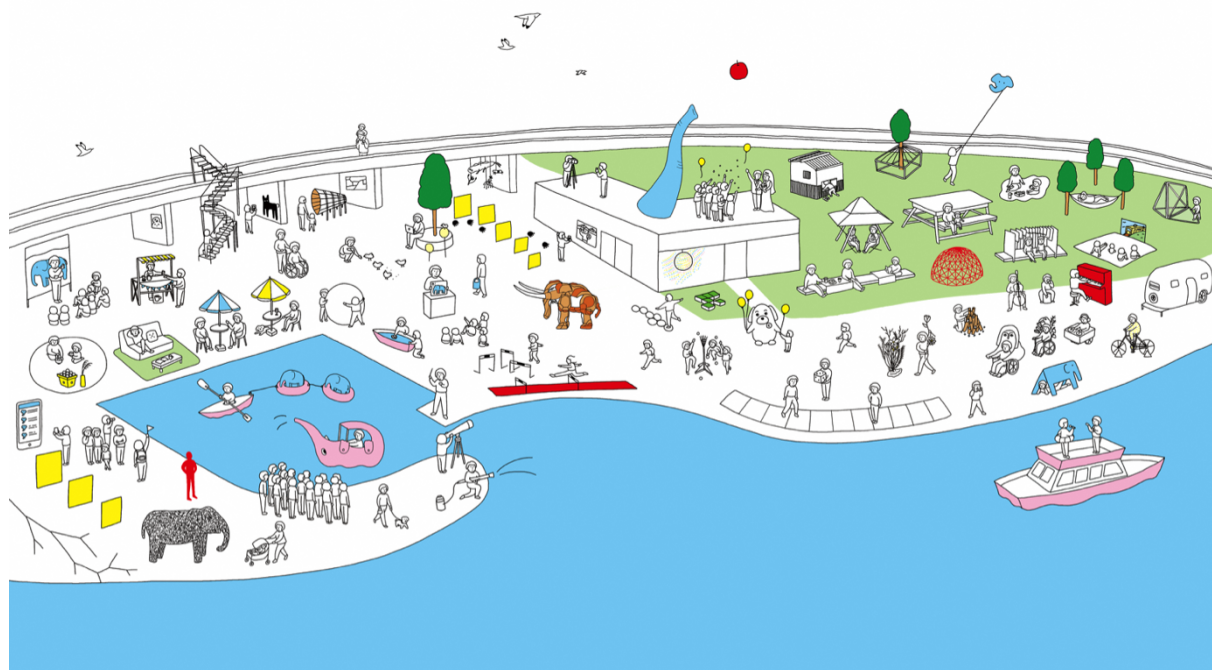


象の鼻テラス開館10周年記念展
「フューチャースケープ・プロジェクト」

会期：2019年6月7日（金）～6月16日（日）11:00-20:00

会場：象の鼻パーク・象の鼻テラス



提案者によるプランの集合図
Illustration：荒牧悠 / Haruka Aramaki

象の鼻パーク・象の鼻テラスの開館10周年記念展覧会の概要がついに決定。

未来を想像し「あったらいいな」と思う、10秒から10年までの100プログラムが大集合！！

「フューチャースケープ・プロジェクト」は、2019年で開館10周年を迎える象の鼻テラスが記念企画としてスタートした、実験的なパブリックスペース・プロジェクトです。象の鼻テラス及び象の鼻パークがさらに居心地よく快適な空間になることを目指し、アートにできることは何か？を模索することが目的です。

2018年6月より、1年にわたり推進してきた本プロジェクトは、公共空間である象の鼻テラス及び象の鼻パークを舞台に、アーティストをはじめ市民の方々が考える独創的なアイデアを公募し、展覧会で実現させることを軸に構成してきました。

実施した公募にはおよそ60ものアイデアが集まり、象の鼻テラスが提案するアート作品やプロジェクトパートナーによるアイデア展示も加え、合計100のプログラムを「フューチャースケープ・プロジェクト」の開催期間中、展開します。

企画内容は、ピアノ演奏や紙芝居、パフォーマンスから、目に耳に楽しい遊具やパブリックファニチャーまで多種多彩。異国の風景と重なるカフェ、夜の映像展示など、創意工夫あふれるプログラムを1日中体験していただけます。

メディアの皆様にはこの機会にぜひ取材・掲載のご検討を賜りますよう、何卒宜しくお願いします。

取材に関するお問い合わせ

象の鼻テラス開館10周年記念展事務局（象の鼻テラス） PR担当：榊原 E-mail：10th-press@zounohana.com

〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通1丁目 TEL 045-661-0602 FAX 045-661-0603

（象の鼻テラス公式ウェブサイト）<http://www.zounohana.com>（10周年特設サイト）<http://www.10thzounohana.yokohama>

見どころ

10秒から10年までの「ある時間」で構成される、100のプログラム

本企画は、提案者が【10秒・10分・1時間・1日・10日・10年】の中から選んだ時間に、アイデアを展示・実演することで構成されます。10秒・10分の瞬間的に楽しむパフォーマンスや1日中遊べる遊具、10日間展示される日陰やベンチといった新たな機能の提案など、多彩なかたちで表現されます。【10年】のアイデアは、会期最大の10日間での展示となります。尚、展開される100のプログラムは、アーティストだけでなく、団体・大学・企業など多様な市民から募集。学生、主婦、会社員、シニア世代、建築家、障がい者など、それぞれの視点やさまざまな立場で考えられた、機能やアクティビティ溢れるプログラムです。

注目のプログラム

【10秒】のアイデア

- 「未知への鼻」：鈴木康広 [アーティスト] | 日程：6月7日～16日

象の鼻の形をしたアドバルーンとして、2012年に象の鼻テラスで制作し、今でも人気を博している作品《未知への鼻》。未知の世界を求めて空高く伸びる「象の鼻」がついに、その象徴のりんごを掴む！？ 奇跡の「10秒」をお見逃しなく。

- 「100人でする譜面のない合唱」 | 日程：6月15日

：フィジカルシアターカンパニー GERO [ダンサー伊藤キム主宰カンパニー]
伊藤キムの指揮のもと、自由に発する声で象の鼻パークを覆い尽くす「10秒」あるいは「10分」のパフォーマンス。100人からなる声の合唱隊には、年齢・性別・国籍問わず、声楽等の経験も必要なく、誰でも参加できます。※参加者募集中

【10分】のアイデア

- 「あったらいいな、こんなもの」 | 日程：6月7日

：イーガル×竹山小学校 [作曲家と40名の小学3年生]
横浜市緑区立竹山小学校3年生による合唱。2018年12月、イーガル（作曲家）とワークショップで制作したオリジナル楽曲「あったらいいな、こんなもの」を披露します。会期初日を飾る10分間の子どもたちの歌声をお聴き逃しなく。

- 「即興劇おにごっこ！ どうぶつの（ゾンビも）いる風景」 | 日程：6月8日

：柳雄斗 [アーティスト]
子どもが周辺の大人を巻き込み「おにごっこ」がはじまる！小学校の10分の休憩時間中、子どもたちが校庭を走り回るエネルギー溢る風景を、象の鼻パークに出現させる即興劇です。

【1時間】のアイデア

- 「km orchestra concert in 横浜」 | 日程：6月8日

：km orchestra (渡辺まこみ&池田恭子) [音楽家]
海を望む風景にあらわれる、横浜らしいカラーの「赤いピアノ」。ピアノ&パーカッションによる1時間のスペシャルコンサート。

- 「車椅子さんのファッションショー」 | 日程：6月9日

：信耕ミミ [アニメーション作家]
移動がスムーズなコンパクトデザインの車椅子とは逆行し、ド派手でおかしな装飾で彩られた車椅子のファッションショーを開催。ミュージシャンの碧衣スイミングが歌と音楽でショーを演出。ショーに登場した車椅子の試乗体験もできる1時間です。

- 「よこはま月見」：ヨコハマツキミ委員会 [主婦とその仲間たち] | 日程：6月15日

主婦の企画立案から始まったお月見イベント。お団子を頬張りながら、演奏とともに、テラスに映し出される大きな月を眺めながら、天体観測のスペシャリストと語らう特別な一夜を計画中。

【1日】のアイデア

● ローランス・ベンツ × ルノー・ジャポン [アーティストと自動車メーカー] | 日程：6月7日
色鮮やかでクスッとユーモアの効いたイラストが特徴のアーティスト、ローランス・ベンツとルノー・ジャポンのコラボレーションによるオブジェが1日限定で登場。横浜フランス月間2019のプログラムのひとつです。



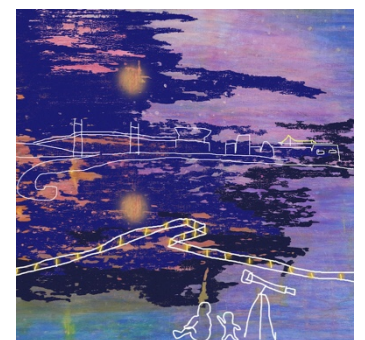
《未知への鼻》鈴木康広



「即興劇おにごっこ！
どうぶつの（ゾンビも）いる風景」柳雄斗



「車椅子さんのファッションショー」
信耕ミミ



「よこはま月見」ヨコハマツキミ委員会

Press Release
2019.4.25

●「Re:being」 | 日程：6月8日、9日

：横浜市立大学鈴木伸治研究室+イクタケマコト [まちづくり系研究室]

地元横浜の大学研究室による、公共の広場にリビングを出現させる計画。

DIY でつくったソファが並び、キッチンカーやワークショップ、トークなど、1 日中滞在できるコンテンツを盛りだくさんで展開します。

【10日】のアイデア

●「Activity-Models」：小泉アトリエ | 日程：6月7日～16日

象の鼻パーク・テラスの設計者が、思い描いた象の鼻パークの活用方法を、全身真っ赤なマネキンで表現します。まるで模型に置く点景のように、「このように使われたらいいな」という風景を疑似的に可視化するインスタレーション。



「Activity-Models」小泉アトリエ

●「スライサー」：武蔵野美術大学建築学科 チーム高橋 | 日程：6月7日～16日

象の鼻パークに設置されている石のベンチに取りつけた、スライスしたパネルの空間が、プライベートな性格を持った居場所になります。日を避けながら、パネルの隙間から風を感じ、切り取られた横浜港の風景眺める特別な時間をつくります。



「スライサー」
武蔵野美術大学建築学科 チーム高橋

【10年】のアイデア

●「記念写真」：海老原祥子 [アーティスト] |

日程：6月7日～16日 (撮影会：土日 13:00-15:00/16:00-18:00/19:00-20:00)

観光地に置かれる記念撮影のための撮影台。ここ象の鼻パークにも 10 日間限定で設置します。週末には作家による撮影会を開催。観光写真の画一化がなされることへのアイロニーがこもった作品です。

提案者一覧 (全 77 団体)

- あいはらぼ (建築系研究室)
- 青木大空 (元 DJ)
- 秋山直子 (写真家)
- アトリエ・トオルワダ (建築家)
- 株式会社ありあけ (老舗お菓子メーカー)
- Unexpected City (大学生)
- アルバン・ドゥ・ラ・シモーヌ (歌手)
- アンスティチュ・フランセ横浜 (海外文化機関)
- イーガル (作曲家) × 竹山小学校 3 年生
- 伊藤七生 (チェロ奏者)
- 株式会社 N and R Foldings Japan 川本尚毅 (プロダクトデザイナー)
- 海老原祥子 (アーティスト)
- MD ひろば班 (まちづくり系大学生)
- オープンウェディング実行委員会 (公共空間でウェディングを实践する有志)
- 岡谷祥平 (アーティスト)
- 海岸通りカヤック同好会 (水上アクティビティを实践する有志)
- 楽団ひとりふたりといっぱい (教師)
- 榎原 徹+竹澤 光人 (建築家)
- 神奈川大学 曾我部研究室 (建築系研究室)
- CAFE Ryusenkei (移動式北欧カフェ)
- 熊坂省吾 (建築家/日本庭園)
- km orchestra (渡辺まこみ&池田恭子) (音楽家)
- 芸術麦酒製造構想 (GPS 地上絵活動家)
- 劇空間音楽あやあね+J (パフォーマー)
- 小泉アトリエ (建築家)
- 小林朋子 (ビーチクリーン活動とサーファー)
- さくら・アリス (アーティスト)
- 笹木一男 (建築家)
- さとうりさ (アーティスト)
- サロン・ド・紙芝居シアターの仲間たち (元校長先生とお母さんたち)
- JIA 神奈川 若手建築家+法人協会 (建築家)
- 島田隼&石川敦貴 (理工系大学生)
- simizzy+大山木材 (造形作家と木材会社)
- ジュリー・ステファン・チェン (アーティスト)
- 女子美術大学 環境デザイン専攻「都市景観×照明デザイン」有志 (建築系大学)
- 白川舞 (大学生)
- 信耕ミミ (アニメーション作家)
- 新人Hソケリッサ! (パフォーマー)
- 身体企画ユニット ヨハク (ダンサー)
- 杉本洋文研究室・slab@杉の町屋 (建築系研究室)
- 鈴木康広 (アーティスト)
- ストリートファニチャーコンペ実行委員会
- ゾウノハナ合唱部
- 象の鼻カフェ
- 象の鼻テラス・ガイドチーム
- 象の鼻テラス
- 曾谷朝絵 (アーティスト)
- 高田彩実 (建築家)
- TATANTATANTAN (ワークショップ活動家)
- チーム・ソラ (大学教授)
- 椿昇 (アーティスト)
- 東京大学 寛康明研究室 (メディア系研究室)
- 徳永宗太+日下淳一 (茶道家とアーティスト)
- 中島崇+art port (アーティスト)
- 生紙芝居 (大学生)
- のげやまくんと星羊社と横浜トゥディ (匿名)
- ノマドプロダクション (アートプロデューサー)
- Party Barracks (美術系大学)
- バンジャンマン・オーブリ (建築家・都市計画家)
- BEYOND Disabilities~超障害~ (大道芸と障害を越えて楽しませる有志)
- フィジカルシアターカンパニー GERO (ダンサー伊藤キム主宰カンパニー)
- 藤崎健吾 (個人)
- 堀清英 (写真家)
- Boris Yu, Frances Lee (デザイナー)
- 一般社団法人 横濱まちづくり倶楽部 (まちづくり系活動チーム)
- 松本郁 (個人)
- 武蔵野美術大学建築学科 チーム高橋 (美術系研究室)
- 持田敦子 (アーティスト)
- 森川エリー (造形作家)
- 柳雄斗 (アーティスト)
- 山本美沙子 (華舞師)
- UR 都市機構 Open Kitanaka-Minami Project (会社員)
- 横浜市立大学鈴木伸治研究室+イクタケマコト (まちづくり系研究室)
- 横浜税関 (ゆるキャラ)
- ヨコハマツキミ委員会 (主婦)
- 横浜ヨコハマ (芸人)
- リリアン・ブルジェア (アーティスト)
- ローランス・ベント × ルノー・ジャポン (アーティストと自動車メーカー)

※五十音順 / () 内は事務局で整理したカテゴリーを表しています。

※提案者メンバー、プログラムの日程・内容は変更となる可能性があります。

Press Release

2019.4.25

開催概要

タイトル	象の鼻テラス開館 10 周年記念展「フューチャースケープ・プロジェクト」 10 秒から 10 年までの「あったらいいな」と思う 100 プログラムが大集合！
会期	2019 年 6 月 7 日（金）～6 月 16 日（日） [10 日間・会期中無休] 11:00～20:00 ※プログラムにより時間変更の場合あり
会場	象の鼻パーク・象の鼻テラス（〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通 1）
入場料	無料
お問い合わせ	TEL 045-661-0602（象の鼻テラス） / MAIL 10th-info@zounohana.com
主催	象の鼻テラス
共催	横浜市
プロジェクトパートナー	小泉アトリエ、abanba、ノマドプロダクション
協賛	株式会社 CREAM
特別協力	アンスティチュ・フランセ横浜（横浜フランス月間 2019）
協力	SUITAKU、株式会社中川ケミカル、株式会社フェニックスマリン、ルノー・ジャパン株式会社

[会期中イベント]

■象の鼻テラス 10 周年記念パーティー

フューチャースケープ・プロジェクトのオープンと、象の鼻テラス 10 周年を記念してパーティーを開催します。提案者メンバーによるトークも実施。どなたでもご参加いただけます。

日程：2019 年 6 月 7 日（金） 19:00- | 会場：象の鼻テラス | 料金：入場無料 / ドリンク等キャッシュオン制

■シンポジウム「公共空間のフューチャースケープ」

市民の広場として開かれた象の鼻パークは、未来にどんな風景を目指すのか。フランスからバンジャマン・オーブリを招き、事例を交えながらヒントを探ります。

日程：2019 年 6 月 14 日（金） 16:00- | 会場：象の鼻テラス

ゲスト：バンジャマン・オーブリ（建築家・都市計画家）、小泉雅生（建築家・小泉アトリエ主宰） ほか

*期間中、他にもトークやワークショップなど様々なイベントを実施予定。詳細はウェブサイトをご覧ください。

[関連プログラム]

■「MIZUNOWA」を広げてピクニック！

アーティスト曾谷朝絵が考案したピクニックシート「MIZUNOWA」を芝生一面にたくさん広げるピクニック企画。カラフルなシートが集まれば、かわいい風景が出現します。あなたも一員になりませんか？（本企画は「フューチャースケープ・プロジェクト」への支援を目的としたプログラムです。参加費の一部はプロジェクト推進費に充てさせていただきます。）

日程：自由開催

料金：5000 円（ピクニックシート「MIZUNOWA」×1、ゾウノハナソフトクリーム×1、ドキュメントブック（名前表記）×1 付）

[お知らせ]

「参加者」として支援して下さる個人・団体を大募集！！

提案されたプログラムの実現に向け、制作を手伝って下さる仲間や、出演者になる”ひと”や、作品完成のための”もの”など、支援を求めています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。[<http://www.10thzounohana.yokohama>]

象の鼻テラスについて



Photo: Katsuhiko Ichikawa

象の鼻テラスは、横浜開港 150 周年記念事業として、2009 年 6 月 2 日に開館しました。横浜港発祥の地を、横浜の歴史と未来をつなぐ象徴的な空間として整備された象の鼻パーク内に、アートスペースを兼ね備えたレストハウス（休憩所）として建てられました。横浜市の新たな都市ビジョン「文化芸術創造都市クリエイティブシティ・ヨコハマ」を推進する文化観光交流拠点の一つです。開港当時から異文化と日本文化がこの土地で出会ってきたように、さまざまな人や文化が出会い、つながり、新たな文化を生む場所を目指し、アート、パフォーマンス、音楽など多ジャンルのプログラムを開催しています。象の鼻テラスは、横浜市文化観光局の委託により、株式会社ワコールアートセンターが運営しています。